

宮代町立百間^{もんま}中学校

保育実習



第3学年

特色

中学生と幼児が1対1のペアを組むことが本校の保育実習の特色である。班で取り組むよりも目の前の幼児に対する責任感が芽生え、人とかかわりが苦手な生徒でも一生懸命、幼児に声をかけ、かかわりを深めようとする姿勢が見られるようになってくる。

生徒の感想

- ・自分が作ったおもちゃで楽しんでもらえるか心配だったが、目を輝かせながら遊んでくれたので安心した気持ちとうれしい気持ちの両方がこみ上げてきた。
- ・幼稚園の先生方は元気な園児たちみんなをしっかりとめることができているすごいなと思った。
- ・手遊びのやり方がわからなかったとき、やり方を教えてくれるとても優しい園児がたくさんいた。

成果

生徒は園児に喜んでもらえるよう、発達を促すおもちゃの製作を行った。その甲斐があって、当日は幼児の反応を見て心を振るわせていた。生徒たちは園児たちと同じ気持ちになってふれあいを大いに楽しめたことを通して「人とかかわるために何が必要か」を学び取ることができた。ゆえに本実習は今後の生活に生かせる学びとなった。